

沖縄オープンラボラトリ活動報告会 2017年度

Service Design Study Group (SDSG)

2017 活動報告

2017年2月21日

2017年度の活動

“沖縄の市民による市民のための活動”を支援しよう

ソーシャルイノベーションとしてのシビックテックに着目

Urban Data Challenge 2017 が今年も開催予定

Open Dataを標榜しているが、**広く募集**している!!

UDC 2017 沖縄ブロック

として参加し活動

UDC2017沖縄ブロックから**2+6**作品応募
(OOL **2**件+琉球大学 **6**件)

全国**232**作品の応募

アプリケーション部門**1**次通過

「御願マイスター」

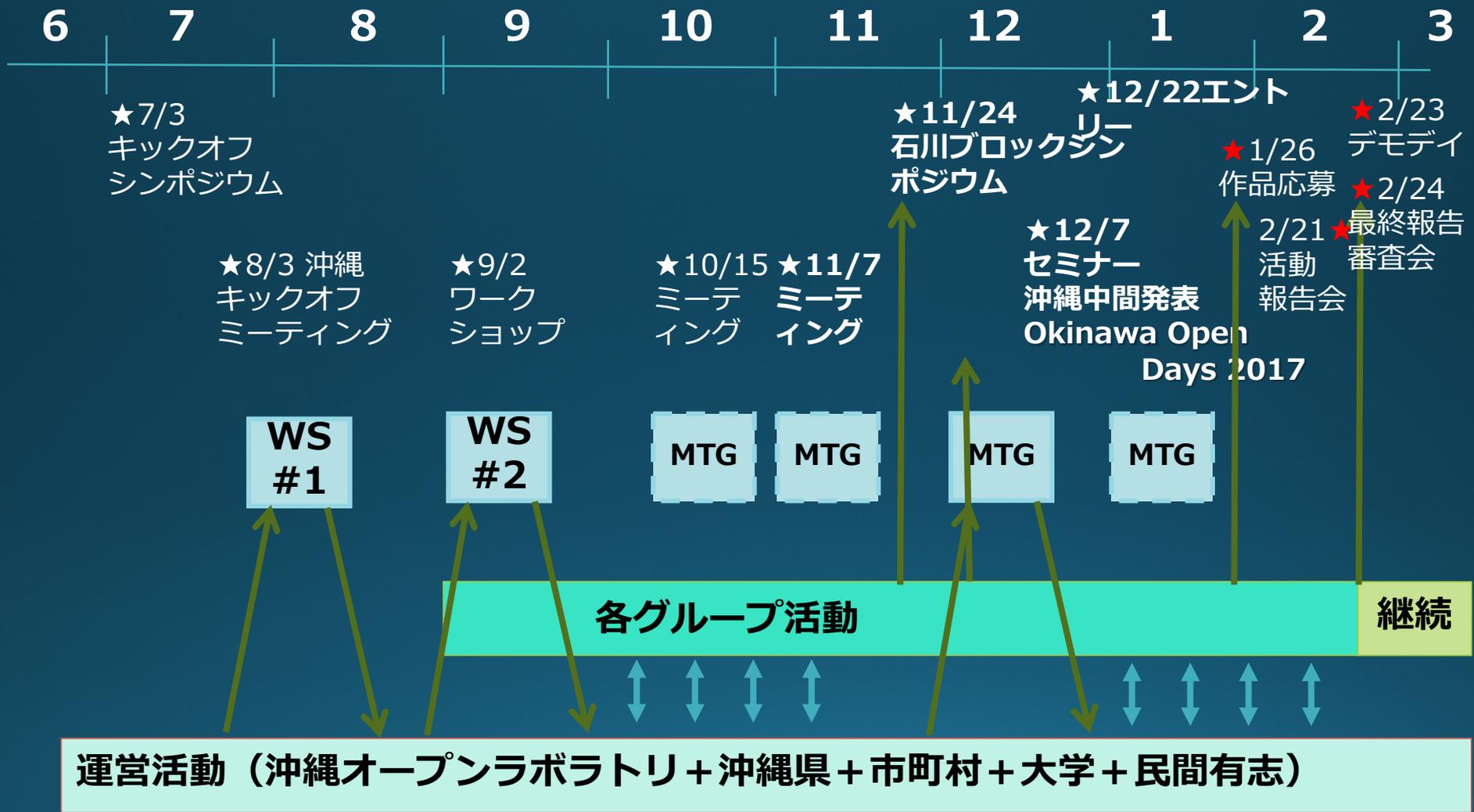
アーバンデータチャレンジ活動状況

- ・ 232作品(296一次エントリー中)が応募
アクティビティ部門 6作品、アイデア部門6作品、データ部門4作品
アプリケーション部門8作品

★ 「御願マイスター」がアプリケーション部門一次審査通過
ラボから石川理事、研究員の安座間くん、
沖縄県庁の宮城さんがメンバーとしてチームに参加

- 2月23日（金）午後：UDC2017ファイナル！
「デモ・デー」 ～“情熱枠”による特別推薦あり？～
- 2月24日（土）終日：UDC2017ファイナル！
～最終審査会&全40拠点の年間活動報告！～

沖縄ブロックの活動計画



沖縄ブロックキックオフミーティングの様子



ワークショップの内容

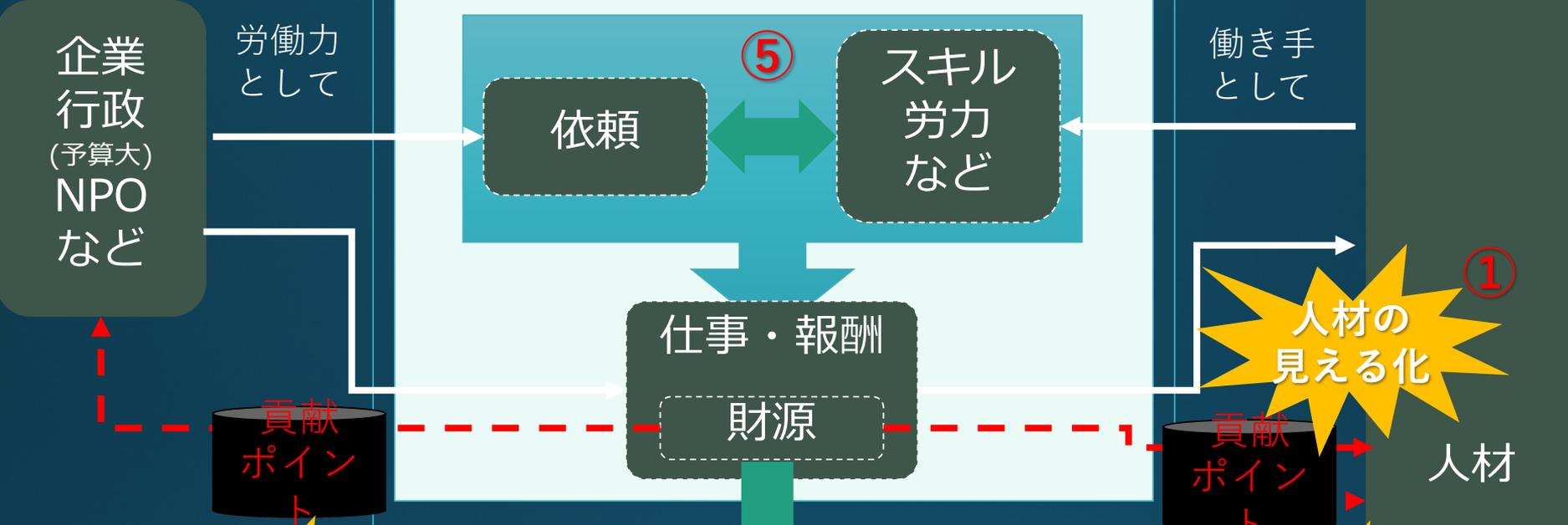
チームA：交通渋滞を、通勤という切り口から、働き方・就労環境という観点に落とし込み「ストレス0通勤の社会」を実現するコンサルティングサービス

チームB：地域の課題解決を課題を持つ側と、課題を解決できるリソースとのマッチングを行なうサービスに企業の社会貢献意識を絡めて自走をする仕組み

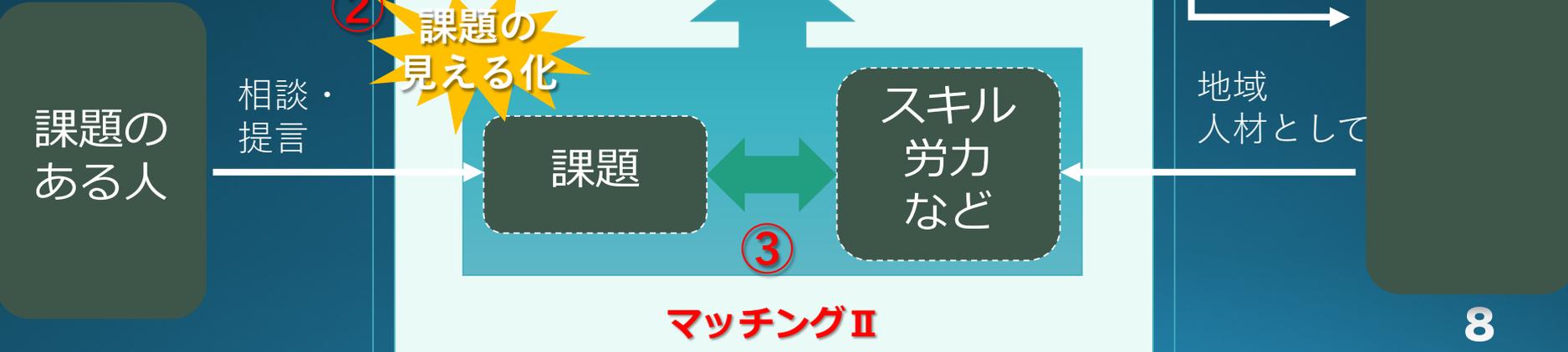
チームC：地域の郷土料理、伝統行事、伝統文化などが世代間で失われないよう共有、継承をおこなうサービス

B/Cの2テーマを中心にリーダー候補と面談(9/26、9/27)
10月よりチームビルド/チーム活動を開始予定

マッチングⅠ



マッチングⅡ



祝 アプリケーション部門一次審査通過

御願マイスター

沖縄でも働き方や暮らし方は
変わりつつあり、文化継承的には

世代間の断絶

がおりつつある



4世代70人 先祖に感謝 宜野湾市の伊波家

御願マイスターという仕組みを通じて、
沖縄古来の**伝統家庭行事**を
円滑に実行できる環境を提供します。

また、そのデジタルアーカイブ機能により
世代間情報断絶の解消および**家庭内や**
家庭間のコミュニケーショントリガーの
醸成をサポートします。

Aさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	Bさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	Cさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	Dさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	...
Eさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	Fさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	Gさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	Hさん家のデジタルアーカイブ 思い出や方法論や コミュニケーションの蓄積 / 共有	...



家庭横断的に蓄積されたデータから何を読み解くか?

- ・ 地域間の比較、時間軸の比較
- ・ 慶弔絡みとかマーケティングデータ?
- ・ 故人の人格や声帯などを再利用

御願マイスターとは？

■ アプリケーション

- ① 業務マニュアル (編集システム)
- ② プロジェクト管理
- ③ 一族用SNS

■ もたらす価値

- ① 伝統行事の円滑な実行を支援
- ② デジタルアーカイブ
- ③ 一族内のコミュニケーショントリガー

機能への落とし込み

- ① 業務マニュアル
伝統行事FAQ
- ② プロジェクト管理
カレンダー、タスク管理、家系図
- ③ 一族用SNS
ウートーLive!
重箱なう
OG, Google
(懐かしいおじいさんの声で日々のニュースを
読み上げてくれたり、朝おこしてくれたり)
この人だよね? を顔認識で解決する

2月24日（土）UDC2017ファイナル

【第3部:地域の課題解決を目指す作品大集合!作品プレゼンテーション】

(司会:日本工営株式会社伊藤颯子)

13:30-16:10 アクティビティ部門、アイデア部門、データ部門、アプリケーション部門

※一次審査を通過した作品について、各5分間でプレゼンテーション

※各部門のプレゼンテーション後にオーディエンスによる投票(一次審査得点に加点)

【第4部:UDC2017栄光は誰の手に?審査結果発表】(司会:東京大学CSIS 瀬戸寿一)

16:35-17:40

- ・審査結果発表・講評・ベスト地域拠点賞
- ・生駒市特別賞、日野市賞、オープンガバメント推進協議会賞等・学生奨励賞
- ・アクティビティ部門
- ・アイデア部門
- ・データ部門
- ・アプリケーション部門

17:40- 閉会挨拶・写真撮影 東京大学生産技術研究所/AIGID・関本 義秀

17:40-19:30 懇談会

来年度以降活動に向けた活動検討

沖縄在住関係者にノウハウを伝授したい
琉球大学、各地のNPOとの連携
沖縄諸島関係の支援

決まった日、曜日、時間に開催したい

- ー 初心者向けWS開催
- ー 進行系プロジェクトサポート
- ー Webプログラム等の勉強会とか

積極的な地域課題解決に関する企業活動支援

おまけ

琉球大学 「地域企業（自治体）お題解決プログラム」 発表会

日時：2018年1月19日16時20分～17時50分（講座時間内）

場所：琉球大学 地域国際学習センター 3階301講義室

内容：・各自治体から提起されたお題の解決プログラムに対する各チームの調査・検討・提案発表

・優勝チームの発表（商品は事務局提供のお菓子）

※沖縄オープンラボ3名（櫻井、加、原）がジャッジ参加

- 「沖縄県の水問題」（八重瀬町からのお題）★優勝
- 「糸満市活性化計画～古民家再生～」（糸満市からのお題）★優勝
- 「コザに恋してプロジェクト」（沖縄市からのお題）
- 「子ども食堂@沖縄市」（沖縄市からのお題）
- 「沖縄市リノベーション」（沖縄市からのお題）
- 「恋活！」（今帰仁村からのお題）

↑UDCに応募